

おじいちゃん だいすき

鹿児島県 鹿屋市立西原小学校二年 清水 桃華

わたしのじいじは、よるねるときに、むかしばなしをしてくれます。

わたしは、おとうさん、おかあさん、おにいさん、おじいさん(じいじ)、おばあさんの六にんで、ひとつのいえにくらしています。

ふつうだったら、おとうさんやおかあさんとねるとおもいますが、なぜか、わたしは、あかちゃんるときから、おじいさんとおばあさんのところでねています。

よるになると、おとうさんとおかあさんとおにいさんとわたしの四にんで、ばんごはんをたべます。そして、はみがきをします。

おにいさんは、はみがきをしたら、二かいにいつて、おとうさんとおかあさんといっしょにねます。

わたしは、はみがきをしたら、おとうさんとおかあさんに、

「おやすみなさい。」

といつて、じいじとばあばのおへやにいきます。

そして、おふとんにはいると、じいじのむかしばなしがはじまります。

「むかしむかし、あるところに、アイロンがありました。そして、おばあさんが、『これは、なににつかうの?』と

いいました。『これは、シワをのばすのよ。』とむすこがいました。おばあさんは、おでこがシワだらけだから、おでこに『シュツ』とアイロンをかけました。そして、おやおけどをしてしまいました。おしまい。」

わたしは、こんなにおもしろいむかしばなしを、まいにち、きいてからねています。ほかにも、おもしろかったり、こわかったりするむかしばなしを、たくさんしてくれます。

じいじのむかしばなしは、えほんやテレビでしているはなしもあれば、じいじのつくりばなしまで、いろいろあります。

だから、わたしは、おふとんにはいると、たのしみで、わくわくします。

わたしは、じいじに、

「いつもありがとう。」

とこころのなかでいつてから、ねむります。まいにちむかしばなしをしてくれるじいじが、すっごくだいすきだから、じいじにながいきをしてほしいです。

そして、わたしがこうこうせいになっても、むかしばなしをしてほしいです。